

整理番号 28-18
補助事業名 平成28年度 機械類の安全性に関する標準化等調査研究補助事業
補助事業者名 一般社団法人日本機械工業連合会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

本事業は、あらゆる機械に網羅的に、横断的に使用できる機械の安全性向上のための国際標準（ISO, IEC）及び日本工業標準（JIS）原案の開発・審議・作成、及び継続的見直しを行い、これら標準を通じて機械の安全性向上を図り、労働災害の減少に寄与することを目的とする。

(2) 実施内容

本事業では、労働災害の低減に寄与するための活動として、ISO/TC199（機械類の安全性）及びIEC/TC44（機械類の安全性－電氣的側面）で担当する国際安全規格の審議・開発を実施するとともに、これら国際規格に対応したJIS原案の作成等を行っている。

本年度は、ISO21260（機械の可動部分と人が物理的に接触することに関する安全データ）、ISO20607（機械安全－取扱説明書）、ISO/TR22100-4（セキュリティ面に関するガイダンスと配慮）、IEC62745（ケーブルレスコントローラ）、IEC62998（人保護のために使用される安全関連センサ）、IEC 63074（安全関連制御システムの機能安全に関連するセキュリティ側面）など19件の国際規格の審議を行うとともに、JIS B 9705-1（制御システムの安全関連部-第1部：設計原則）、JIS B 9960-1（機械の電気装置）、JIS B 9960-31（機械の電気装置－縫製機械等の安全性とEMCに対する要求事項）など5件のJIS原案の作成を実施した。



ISO/TC199/WG8（フクシア浜松町）
平成28年8月5日



ISO/TC199/WG8（英国）
平成29年8月29日～9月2日



IEC/TC44 MT61496-3 及び IEC/TC44/WG14
 (京都) 平成 28 年 9 月 13 日～21 日

国際規格案 ISO21260
 (機械の可動部分と人が物理的に接触することに関する安全データ)

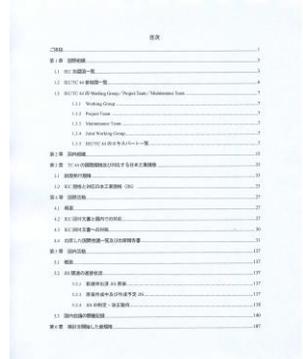
2 予想される事業実施効果

本事業成果は、産業機械全般に適用可能な安全に関する標準であるが、最近では、産業機械のみならず、機械式立体駐車場の事故防止のための国土交通省における安全対策検討などにも利用されている。また、本事業で新規に標準化作業を進めている ISO21260 は、機械の可動部分と人が物理的に接触することに関する安全データの収集及び作成を実施するものであるが、人と機械が接触し、協調作業を行うロボット、例えば福祉用ロボットなどの安全対策などにも活用されることが予想され、産業機械の枠組みを今後さらに越えて活用されることが見込まれる。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

- ・平成 28 年度 ISO/TC199 部会成果報告書
(<http://www.jmf.or.jp/houkokusho/1505/>)
- ・平成 28 年度 IEC/TC44 部会成果報告書
(<http://www.jmf.or.jp/houkokusho/1505/>)

<p style="text-align: center;">1</p> 	<p style="text-align: center;">2</p> 
<p style="text-align: center;">ISO/TC199 部会活動報告書 (表紙)</p>	<p style="text-align: center;">ISO/TC199 部会活動報告書 (目次)</p>
<p style="text-align: center;">3</p> 	<p style="text-align: center;">4</p> 
<p style="text-align: center;">IEC/TC44 部会活動報告書 (表紙)</p>	<p style="text-align: center;">IEC/TC44 部会活動報告書 (目次)</p>

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人日本機械工業連合会（ニホンキカイコウギョウレンゴウカイ）

住所： 〒105-0011

東京都港区芝公園3-5-8

代表者： 会長 大宮 英明（オオミヤ ヒデアキ）

担当部署： 標準化推進部（ヒョウジュンカスイシンブ）

担当者名： 標準化推進部長 宮崎浩一（ミヤザキ ヒロカズ）

電話番号： 03-3434-9436

F A X： 03-3434-6698

E-mail： miyazaki@jmf.or.jp

U R L：